国際女性デー・日仏シンポジウム

# 女性の貧困化に社会はどう立ち向かうのか
## ～グローバル危機の中での日仏比較～

**2009 年 3 月 8 日（日）**
**14 時～ 17 時 45 分**
**日仏会館ホール**
**入場自由・無料　日仏同時通訳あり**

**主催：日仏会館研究センター、日仏女性研究学会**
**後援：グローバル COE「グローバル時代の男女共同参画と多文化共生」（本拠点：東北大学、連携拠点：東大社研）**

© Marcel Cerf

経済のグローバル化による競争の激化は日本に限らず世界の至る所で貧富の格差を広げ、働いても日々の生活に困窮する人々、いわゆるワーキングプアを大量に作り出しました。さらにサブプライムローンの破綻から始まった深刻な経済危機が雇用状況を悪化させ貧困化に追い打ちをかけています。

今年の国際女性デーは、これまでの格差社会や貧困をめぐる言説の中で忘れられてきた困窮する女性たちに焦点をあて、日仏比較の視点から、貧困と差別の問題にアプローチします。このシンポジウムは、日仏会館研究センターの研究プログラム（2009 年 ～ 2012 年）における第一研究領域「社会的な排除と包含」の一環として行われます。

**プログラム：**

総合司会：長谷川イザベル（日仏女性研究学会）

☞ **14 時 ～ 14 時 5 分：開会のあいさつ　　マルク・アンベール（日仏会館研究センター所長）**
☞ **14 時 5 分 ～ 14 時 10 分：後援団体あいさつ　　辻村みよ子（東北大学教授）**

### 第一部：「女性の貧困：現状と構造的原因」

司会：石田久仁子（日仏女性研究学会）、辻山ゆき子（日仏女性研究学会）

- **フランスの現状、日本の現状**

☞ **14 時 10 分 ～ 14 時 30 分：カトリーヌ・シモン（ル・モンド記者）—「貧困・不安定雇用の女性たち、メディアの視点」**
☞ **14 時 30 分 ～ 14 時 50 分：いちむらみさこ（ホームレス・アーティスト）—「路上生活から見えること — ノラの活動と 246 キッチン」**
☞ **14 時 50 分 ～ 15 時 10 分：質疑応答**

- **構造的原因：フランス、日本**

☞ **15 時 10 分 ～ 15 時 30 分：ソフィ・ポンティユ（国立統計経済研究所　エコノミスト）—「フランスの女性の経済的依存と貧困」**
☞ **15 時 30 分 ～ 15 時 50 分：大沢真理（東京大学教授）—「再分配が作り出す貧困大国ニッポン」**
☞ **15 時 50 分 ～ 16 時 10 分：質疑応答**
☞ **16 時 10 分 ～ 16 時 40 分：休憩**

### 第二部：「女性の貧困化にどう立ち向かうのか」

司会：中嶋公子（日仏女性研究学会）、ダヴィッド＝アントワーヌ・マリナス（日仏会館特別研究員）

☞ **16 時 40 分 ～ 17 時 40 分：パネルディスカッション**
☞ **17 時 40 分 ～ 17 時 45 分：閉会のあいさつ　加藤康子（日仏女性研究学会）**

フランス外務省 – CNRS
国立在外共同研究所 UMIFRE 19
〒 150-0013　東京都
渋谷区恵比寿 3-9-25
日仏会館
フランス事務所

● **詳細についてはホームページをご覧下さい：**
**http://www.mfj.gr.jp**
● お問い合わせ（月～金 9 時 30 分 ～ 18 時）
**Tel : 03-5421-7641 / Fax : 03-5421-7651**